



平成 27 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 特種東海製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 三澤 清利  
(コード：3708、東証第一部)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 財務・IR 室長 関根 常夫  
(TEL. 03-3281-8581)

### 島田工場における火災事故の処理状況、被害内容及び特別損失の計上 並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 12 月 31 日、当社島田工場において発生しました火災事故（平成 27 年 1 月 5 日発表「火災発生に関するお知らせ」をご参照ください。）につきまして、近隣の皆様、株主の方々、お取引先等の関係者の皆様方に、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、その後の火災事故の処理状況及び被害内容についてお知らせいたします。

また、これに伴う費用を特別損失に計上するとともに、平成 26 年 11 月 12 日に公表した平成 27 年 3 月期の連結業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 火災事故の処理状況及び被害内容

当社島田工場において、平成 26 年 12 月 31 日に発生しました火災は、平成 27 年 1 月 3 日に鎮圧され、同 1 月 5 日に完全鎮火となりました。この火災に伴う人的被害はありませんが、絶乾約 4,300 トンの木質チップ及び木質チップ貯蔵庫等が焼失いたしました。現時点で関係当局による現場検証は終了しておりますが、最終的な原因についての結論には至っておりません。

当社は、この火災事故により生じた固定資産の除却等、直接的被害額を特別損失として第 3 四半期累計期間において計上し、仮復旧の過程において発生する操業上のコスト増加を第 4 四半期会計期間において特別損失に計上する見込みです。

火災事故により生じた直接的被害額とは、原材料及び固定資産の除却損失、火災に伴う鎮火及び撤去に要した費用等であります。仮復旧の過程において発生する操業上のコスト増加には、木質チップの貯蔵や樹種配合を行うサイロが焼失したことにより、木質チップ搬入及びパルプ製造工程への投入の動線を別途確保する為に発生するコストや、操業低下に伴う製造原価の増加等を含みます。

なお、当社はかかる損害に備えた保険を付保しておりますが、保険金の受取額は現時点で確定しておりません。

#### 2. 特別損失の計上について

当社は平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）において、主に、火災により焼失した木質チップ及び木質チップ貯蔵庫等の簿価等、当社島田工場の火災事故により生じた直接的損害額 608 百万円を、特別損失として計上することといたしました。

### 3. 連結業績予想の修正について

#### (1) 平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 79,000	百万円 2,500	百万円 2,600	百万円 800	円 銭 5.48
今回発表予想 (B)	—	—	—	—	—
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	78,159	3,180	3,522	2,180	14.95

#### (2) 業績予想修正の理由

第3四半期累計期間において発生しました特別損失608百万円は、火災事故により生じた直接的損害額であり、仮復旧の過程において発生する作業上のコスト増加は、第4四半期会計期間において、同様に火災損失として特別損失に計上する見込みです。この第4四半期会計期間において特別損失として発生する火災に起因したコスト増加額は、現時点で5～6億円と見込んでおりますが、現状においては、未だ仮復旧作業の途中であり合理的に数値を把握できる状況に至っておりません。

また、当社はかかる損害に備えた保険を付保しておりますが、保険金の受取額は現時点で確定しておりません。

以上の通り、現時点で業績への影響を合理的に見積もることが困難なため、通期の業績予想を未定とさせていただきます。今後、業績への影響額が判明次第、速やかに開示いたします。

以 上